

令和6年度

# 8中学校区 学校園所連携活動報告



三田市教育委員会

## 令和6年度 学校園所連携推進の取組について

### 1 学校園所連携推進の方向

市内全体及び中学校区ごとの学習面や生活面での課題を明らかにしながら、就学前から義務教育終了までを見通して、子どもたちの育ちと学びの連続性を重視した学校園所連携を推進する。

### 2 令和6年度の取組

(1) 「令和6年度 阪神・丹波地区 幼児期と児童期の円滑な接続推進研修会」への参加により、「令和6年度学校園所連携推進に係る研修会」と兼ねる。

日 時：令和6年6月14日（金）13：10～16：45

場 所：三田市立三輪小学校

対 象：小・中・特別支援学校管理職又は担当者、市内幼稚園、保育園所、認定こども園、小規模保育施設の職員等

テーマ：『学び』でつながる子どもの育ち

講師 兵庫教育大学 准教授 飯野 祐樹 氏

(2) 中学校区単位の連絡会

- ・代表管理職が中心となり、管理職及び学校園所連携担当者により運営
- ・重点推進テーマをもとに各学校園所の取り組み等の協議
- ・中学校区としての取組の方向性やその具体について検討

### 3 学校園所の連携・接続の重要性について

幼稚園では、平成30年度から現行の幼稚園教育要領が実施され、小・中学校では改訂された学習指導要領が令和2年度（小学校）、令和3年度（中学校）から実施されている。幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小・中学校学習指導要領には、校種間の連携について、具体的に記されている（参考資料参照）。

未来を生きる子どもたちの健やかな育成のために、学校園所の連携及び接続を効果的に進めるとともに、継続的に取り組むことが重要である。

※（参考資料）参照

幼稚園教育要領【資料1】

保育所保育指針【資料2】

幼保連携型認定こども園教育・保育要領【資料3】

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領  
共通事項【資料4】

小学校学習指導要領【資料5】

中学校学習指導要領【資料6】

(参考資料)

## 第1章 総則

【資料1】

### 第3 教育課程の役割と編成等

#### 5 小学校教育との接続に当たっての留意事項

- (1) 幼稚園においては、幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を養うようにするものとする。
- (2) 幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

## 第2章 保育の内容

【資料2】

### 4 保育の実施に関して留意すべき事項

#### (2) 小学校との連携

- ア 保育所においては、保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。
- イ 保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、第1章の4の(2)に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めること。
- ウ 子どもに関する情報共有に関して、保育所に入所している子どもの就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにすること。

## 第1章 総則

【資料3】

### 第2節 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画等

#### (5) 小学校教育との接続に当たっての留意事項

- ア 幼保連携型認定こども園においては、その教育及び保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。
- イ 幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼保連携型認定こども園における教育及び保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

【資料4】

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| (1) 健康な心と体       | (2) 自立心              |
| (3) 協同性          | (4) 道徳性・規範意識の芽生え     |
| (5) 社会生活との関わり    | (6) 思考力の芽生え          |
| (7) 自然との関わり・生命尊重 | (8) 数量・図形、文字等への関心・感覚 |
| (9) 言葉による伝え合い    | (10) 豊かな感性と表現        |

【資料5】

第1章 総則

第2 教育課程の編成

4 学校段階等間の接続

教育課程の編成に当たっては、次の事項に配慮しながら、学校段階等間の接続を図るものとする。

- (1) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育指導要領に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

また、低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学校以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

- (2) 中学校学習指導要領及び高等学校学習指導要領を踏まえ、中学校教育及びその後の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、義務教育学校、中学校連携型小学校及び中学校併設型小学校においては、義務教育9年間を見通した計画的かつ継続的な教育課程を編成すること。

【資料6】

第1章 総則

第2 教育課程の編成

4 学校段階間の接続

- (1) 小学校学習指導要領を踏まえ、小学校教育までの学習の成果が中学校教育に円滑に接続され、義務教育段階の終わりまでに育成することを目指す資質・能力を、生徒が確実に身に付けることができるよう工夫すること。特に、義務教育学校、小学校連携型中学校及び小学校併設型中学校においては、義務教育9年間を見通した計画的かつ継続的な教育課程を編成すること。

#### 4 三田市のめざす子ども像を踏まえた取組

三田市は、「第3期さんだっ子かがやき教育プラン（三田市教育振興基本計画）」において、次のような子どもを育てていくことをめざし、教育施策を進めてきた。

##### 【三田市がめざす子ども像】

自分が好き、人が好き、このまちが好き、  
夢に向かって歩むさんだっ子

- ◎自分や人を大切にし、誇りを持って生きる子
- ◎身近なことに興味関心をもち、課題と向き合い、深く学ぼうとする子
- ◎“ふるさと三田”のよさに気づき、まちを愛する子
- ◎人とのつながりの中で、何事にも粘り強く取り組む子
- ◎自分自身の生き方を考え、自らの可能性に挑戦する子

学校園所連携の推進にあたり、各中学校区が「三田市のめざす子ども像」を踏まえた重点推進テーマが達成できるよう各中学校区で連携を図り、評価と検証を行ったうえで改善しながら取り組んできた。

#### 5 今後の取組について

本市では、令和4年度から令和8年度までの5年間の計画として、「三田市教育振興基本計画（第3期さんだっ子かがやき教育プラン）」を策定し、「夢を育て、人をはぐくむ学びのまち さんだ」を基本理念に掲げ、学校の役割として、学校園所連携接続の推進と小中一貫した教育の推進に取り組むこととしている。

就学前から中学校卒業まで、学校園所で「めざす子ども像」を共有し、交流活動等の連携を図ることで、発達段階に応じた学びとその連続性を確保してきた。今後も、これまで確立した学校園所連携の取り組みを継続的に進めることが重要である。

今後は、これまで培った学校園所連携を礎として、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や義務教育9年間を見据えた各中学校区の「めざす子ども像」を共有し、その達成に向けてこれまでの取組を点検、精選したうえで重点推進テーマや取組内容を考え、教育活動を充実させていくことが必要である。

また、子ども同士の交流実践だけにとどまらず、それぞれの教育課程や教育実践などを交流し、小中一貫した教育課程を実践することで学校園所の教員同士の相互交流と相互理解を深めることで、学校園所連携、小中一貫教育の取組を一層加速させることが期待できる。

子どもたちの生きる力を育むため、学校園所が創意工夫して交流し、円滑な接続・連携が図れるよう推進していく。

中学校区 学校園所一覧

長坂中学校	本庄小学校 広野小学校	みつば幼稚園
上野台中学校	志手原小学校 小野小学校 高平小学校 母子小学校	志手原幼稚園 小野幼稚園 高平幼稚園 母子幼稚園
狭間中学校	武庫小学校 狭間小学校	ゆうかりフレンズ 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園 三田さち幼稚園
八景中学校	三田小学校 三輪小学校 松が丘小学校	三田こぼと保育園 よこやま保育園 さんだのもり保育園 三田 虹の子保育園 三田保育所 三田幼稚園 三輪幼稚園 松が丘幼稚園
けやき台中学校	すずかけ台小学校 けやき台小学校	若草幼稚舎 湊川短期大学附属キッズポート保育園 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園 三田けやき台認定こども園
富士中学校	富士小学校 弥生小学校 ひまわり特別支援学校	ふじ幼稚園 やよい幼稚園
藍中学校	藍小学校 つつじが丘小学校	あいの保育園 三田つつじが丘認定こども園 みつば幼稚園
ゆりのき台中学校	あかしあ台小学校 学園小学校 ゆりのき台小学校	光の子保育園 三田あさひ幼稚園 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園 神戸親和女子大学附属親和幼稚園 ほしのさと保育園

## 中学校区の令和6年度重点推進テーマ

【めざす子ども像】自分が好き、人が好き、このまちが好き、夢に向かって歩むさんだっ子  
【基本理念】夢を育て、人をはぐくむ学びのまち さんだ

### 三田の教育

#### 【長坂中学校区】

テーマ「生活習慣の確立と主体的な学びの育成を目指して」  
～表現力を磨き、自己肯定感を高め、夢を語れる子どもの育成～

#### 【上野台中学校区】

テーマ「不登校生の減少を目指した連携推進」

#### 【狭間中学校区】

テーマ「夢をえがき 確かな学力で たくましく生きる子ども」  
・ほめて のばす 小中一貫教育のあり方に関する研究  
～切れ目のない連携による児童生徒の自己有用感の向上をめざして～

#### 【八景中学校区】

テーマ「人も自分も、学校園所もふるさと、大切にできる子」

#### 【けやき台中学校区】

テーマ「よりよい人間関係を結ぶ力を育てる」  
～あいさつの活性化～

#### 【富士中学校区】

テーマ「保幼小中特の連続した発達や学びを支える教育の充実を  
めざして」

#### 【藍中学校区】

テーマ「夢や希望を語れる子の育成」  
～夢や希望を語るができる力の育成のために～

#### 【ゆりのき台中学校区】

テーマ「「夢」を描き、「未来」に向かって、「ひと」とつながり、前進する子」

# 長坂中学校区

長 坂 中 学 校  
本 庄 小 学 校  
広 野 小 学 校  
あ い の 保 育 園  
み つ ば 幼 稚 園

(様式例)

## 令和6年度 連携推進活動報告書

( 長坂 ) 中学校区

### ○本年度の中学校区における重点推進テーマ・取組内容

テーマ 「生活習慣の確立と主体的な学びの育成を目指して」 ～表現力を磨き、自己肯定感を高め、夢を語れる子どもの育成～
---

### ○活動内容

月日	時間	内容	参加者	場所
4月10日	10:00～	中学校入学式出席	校長	長坂中学校
4月11日	10:00～	小学校入学式出席	校長	広野小学校 本庄小学校
4月25日	10:00～	長坂中校区校長会	校長	長坂中学校
5月1日	14:00	長坂中学校オープンスクール	学校園所担当者	長坂中学校
5月17日	9:30～	みつば幼稚園開園セレモニー	校長	みつば幼稚園
5月20日	11:25～	広野小学校授業参観	みつば幼稚園職員	広野小学校
5月22日	15:00～	長坂中校区教頭会	教頭	長坂中学校
5月25日	9:00～	広野小学校運動会参観	校長	広野小学校
5月27日 ～31日		トライやるウィーク生徒受け入れ	長坂中2年	各校園
6月2日	9:00～	本庄小学校運動会参観	校長	本庄小学校
6月4日	9:50～ 11:00	サツマイモの苗植え	みつば幼稚園園児・ 担任 本庄小学校1年生・ 担任	本庄小学校校 区内
6月4日	10:00～	広野小学校プール掃除	広野小児童 みつば幼稚園園児	広野小学校
6月6日	14:30～ 16:45	連携連絡会 ・授業参観および情報交換 ・今年度の取り組みについて	教頭 各校園所担当者	長坂中学校
6月13日	15:15～	学年別人権研修会	担当者	本庄小学校
6月17日	13:30～ 15:00	長坂中学校特別支援教育見学会	在籍児童・保護者 特支担任。6年担任	長坂中学校
6月20日	9:30～	みつば幼稚園研修会	学校園所担当者	みつば幼稚園

6月21日	9:30～	本庄小学校オープンスクール	校長	本庄小学校
7月11日		長坂中公開授業（道徳）	各担当者	長坂中学校
8月2日		長坂中人権教育校内研修会	校長・各担当者	ふれあいと創造の里
8月24日	17:00～	広野まつり 演奏	長坂中学校吹奏楽部	広野小学校
9月11日	9:00～	長坂中学校体育大会	校長	長坂中学校
10月9日	10:35～	みつば幼稚園との交流会	園児・児童	広野小学校
10月9日	14:00～	長坂中オープンスクール ・授業参観および部活体験	6年児童・保護者 6年担任	長坂中学校
10月15日	9:50～ 11:00	サツマイモ収穫	みつば幼稚園園児・担任 本庄小学校1年生・担任	本庄小学校校区内
10月20日	9:00～	みつば幼稚園運動会	校長	みつば幼稚園
10月21日	10:00～	長坂中校区校長会	校長	本庄小学校
10月23日	9:00～	広野小学校児童音楽会	校長 みつば幼稚園園児	広野小学校
10月23日	16:00～	長坂中校区教頭会	教頭	広野小学校
10月25日		長坂中学校文化祭	校長	長坂中学校
10月31日	9:00～	本庄小学校音楽会リハーサル	校長	本庄小学校
11月3日	9:00～	本庄小学校音楽会	校長	本庄小学校
11月26日	14:30～ 16:45	連携連絡会 ・授業参観および情報交換	教頭 各学校園所担当者	本庄小学校
12月4日	AM	長坂中学校公開授業（英語）	各担当者 管理職	長坂中学校
12月10日	8:40～ 14:10	広野小学校・本庄小学校交流会	小学校各担任 児童	広野小学校
12月12日	8:45～ 9:35	長坂中学校公開授業（道徳）	各担当者 管理職	長坂中学校
1月14日	10:00～	長坂中校区校長会	校長	広野小学校
1月21日	14:30～ 16:45	連携連絡会 ・授業参観および情報交換	各学校園所担当者 管理職	広野小学校
1月22日	16:00～	長坂中校区教頭会	校長	広野小学校
1月24日	13:00～	長坂中学校入学説明会	小学校各担任・児童	長坂中学校
1月29日	14:00～	長坂中学校公開授業（理科）	各担当者	長坂中学校
1月30日	13:25～	本庄小学校入学説明会	各担任・児童・園児	本庄小学校
2月7日		みつば幼稚園生活発表会	校長	みつば幼稚園
2月7日	13:15～	広野小学校研究発表会	各担当者	広野小学校
2月13日	8:45～	長坂中学校公開授業（道徳）	各担当者	長坂中学校

2月13日	13:25～	広野小学校入学説明会	各担任・児童・園児	広野小学校
2月26日	10:40～	みつば幼稚園との交流会	園児・児童	広野小学校
3月4日	PM	英語科オンライン交流授業	長坂中1年 広野小6年	長坂中学校 広野小学校
3月		小中連絡会 ・中学校への児童情報引継ぎ	生活指導担当 6年担任 特支担任	広野小学校 本庄小学校

## ○具体的な取組について

### 広野小学校・みつば幼稚園

- ・小学校の運動会練習を園児が見学
- ・幼稚園の運動会練習の見学と交流
- ・小学校の児童音楽会の見学
- ・入学説明会において5年と園児が交流
- ・1年生が園児に向けて、小学校を紹介

### 本庄小学校

- ・就学前の園児の運動会への参加
- ・幼、1年でのさつまいも苗植え・収穫（地域老人会との交流を兼ねて）
- ・小学校で定期健康診断を実施
- ・小学校入学説明会での入学予定園児・1年児童・5年児童の交流

### 長坂中学校・広野小学校・本庄小学校

- ・中学校のオープンスクールで授業参観および部活体験（10月）
- ・中学校の入学説明会で体験授業（1月）

### 広野小学校・本庄小学校

- ・小学校間の交流（5年、6年）



小学校交流会  
(本庄小・広野小)



1年生交流会  
(みつば幼稚園・広野小学校)



中学校体験授業  
(本庄小・広野小)

## ○ 成果と課題

- 今年度の取組テーマは、児童・生徒の様子から、昨年度と同じテーマで引き続き取り組むことを確認した。
- 毎回の園所連携交流会で、各校の取り組み、特別支援学級の児童の様子や通級在籍児童の様子など、情報交換をする貴重な場となった。
- 連絡会を年間通して実施したことで、実際の児童生徒の現状を確認でき、そこで報告のあった各校児童生徒の成長や変化を知ることができた。
- 幼稚園、小学校、中学校という縦の繋がりとともに、小学校間の横の繋がりも持つことができた。
- 児童数の少ない本庄小学校の6年生児童にとっては、広野小学校6年生との交流の場を持てたことは大変有意義だった。今後も続けていきたい。
  
- これまで同様、学校間で丁寧な情報交換を継続していく必要がある。
- 同じ日に多くの教員が出ていくことは、小さな学校としては参加しにくい時もある。実際、自習計画を立てることができず授業参観ができない教員もおり、部会での話し合いからの参加になることもあった。
- 新たにみつば幼稚園となったことで、本庄小学校児童と幼稚園との交流の機会が減った。実施できる取り組みは続けていくことが大切である。

# 上野台中学校区

上	野	台	中	学	校
志	手	原	小	学	校
小	野	小	学	校	校
高	平	小	学	校	校
母	子	小	学	校	校
志	手	原	幼	稚	园
小	野	幼	稚	园	园
高	平	幼	稚	园	园
母	子	幼	稚	园	园

# 令和6年度 連携推進活動報告書

( 上野台 ) 中学校区

## ○本年度の中学校区における重点推進テーマ・取組内容

テーマ「不登校生の減少を目指した連携推進」

- ・生徒指導、特別支援教育、キャリア教育、学習指導を中心に連携を図る。
- ・「みんなで育てよう」および「解説編」の家庭への周知、学校と家庭・校種間の連携を図る。
- ・「みんなで育てよう ―将来の夢や目標を持ち、挑戦する園児・児童・生徒―」の検証、実績の積み重ね。
- ・幼小中合同研修会の実施。

## ○活動内容

月日	時間	内容	参加者	場所
4月		キャリアパスポート引継ぎ		
5月1日	10:00～	第1回校区内校長会	各校校長	上野台中学校
5月14日	13:30～	第1回校区内教頭会	各校教頭	上野台中学校
6月3日～ 6月7日		トライやる・ウィークでの職場体験	トライやる・ウィーク担当	各幼稚園・小学校
6月11日		★自然学校に向けた3校交流会	志手原小・小野小・母子小	オンライン
6月28日		第1回校区内生徒指導担当者会	各校生徒指導担当	上野台中学校
6月13日	15:15～	ブロック 学年別人権研修会	各小学校教員 中学校人権教育担当	高平小学校
6月17日	9:40～	志手原・小野幼稚園と志手原小交流	幼稚園児 小学5年生	志手原小学校
6月25日	16:00～	★第1回校区内学校園所連携担当者会	各校学校園所連携担当	オンライン
7月1日～ 5日		小学校交流会（自然学習）	志手原小・小野小・母子小	竹野海岸・奥猪名
7月26日		★幼・小・中学校園合同研修会	各校全教員	上野台中学校
10月21日	9:40～	志手原・小野幼稚園と志手原小交流	幼稚園児 小学5年生	志手原小学校
10月22日		★全国学力学習状況調査分析・意見交換	研究推進担当	オンライン
10月30日	14:20～	★道徳公開研究授業	各校希望教員	上野台中学校
11月27日		第2回校区内校長会	各校校長	小野小学校
11月28日		第2回校区内生徒指導担当者会	各校生徒指導担当	小野小学校
12月6日		6年4校交流会	志手原小・小野小・高平小・母子小	志手原小学校
12月11日	14:30～	英語科公開研究授業	各校希望教員	上野台中学校

12月12日	15:30～	★第2回校区内教頭会	各校教頭	オンライン
12月16日		幼稚園交流会（中学3年生の保育実習）	幼稚園児 中学3年生	上野台中学校
1月23日	15:15～	ブロック 学年別人権研修会	各小学校教員 中学校人権教育担当	高平小学校
1月24日	13:30～	上野台中学校入学説明会 ★小学6年生体験授業	志手原小・小野小・高平小・母子小	上野台中学校
1月30日	15:45～	★第2回校区内学校園所連携担当者会	各校学校園所連携担当	オンライン
2月4日		第3回校区内生徒指導担当者会	各校生徒指導担当	高平小学校
2月26日		第3回校区内校長会	各校校長	高平小学校
2月13日	15:45～	★第1回校区キャリア教育担当者会	キャリア担当教員	オンライン
3月6日	15:45～	★第3回校区内教頭会	各校教頭	オンライン
2,3月		★6年生出前授業	小学校6年生	各小学校
3月		6年生児童情報交換	生徒指導担当	上野台中学校
通年		SC SSW 小学校への派遣	生徒指導担当 担任	各小学校
通年		各小学校と幼稚園の交流	各小学校、幼稚園	各小学校

※今年度の取組の中で、一層の連携推進となった内容に★印を入れてください。

### ○具体的な取組について

- ・年度初めに連携内容ごとに窓口となる担当者の確認・整理を行い、周知を図った。
- ・校区校長連絡会で連携の方針を共有し、教頭会で具体的な連携方法について検討した。
- ・本校区は地域が広く、移動時間等の問題を考え、オンライン会議を積極的に活用し、連携を図った。
- ・各校の研究会、公開授業、小学6年生の中学校体験授業・出前授業、中学3年生の幼稚園交流会を実施した。
- ・校区内各校の全教職員参加の幼・小・中学校園合同研修会を実施した。
- ・SC、SSWの派遣を行い、各小学校の生徒指導上の課題の改善とともに、入学予定児童の情報交換が進んだ。

### ○成果と課題

#### 成果

本校区は地域が広く、移動時間や担当者の負担等を考え、今年度も積極的にオンラインでの会議を推進し、円滑的に幼小中連携が推進できた。

夏季校区合同研修会は、幼稚園から中学校までの職員が一堂に集まり、今年度は「不登校の減少を目指した連携推進」をテーマに講師を招聘し、日ごろの子供たちへのかかわり方を見つめなおす良い機会となった。

また、今年度も入学説明会において6年生体験授業の機会を設けるとともに入学説明会後に実施した各小学校への出前授業により、「中1ギャップ」の解消にもつなげることができた。加えて生徒指導面ではSCやSSWの各小学校訪問を定期的に計画実施したことで、子供の9年間の成長を見守り支援する体制づくりへの意識づけになった。

#### 課題

年度初めに連携内容ごとに窓口となる担当者の確認を行っており、生徒指導に関しては学期ごとの担当者会が定着化しており、情報共有も図られている。しかし、特別支援教育に関しては中学校入学時の連携強化が課題となっている。また、来年度は校区内の幼稚園が合併されて1校になる為、幼少の連携をどう図るのが大きな課題となる。今後も、オンラインでの開催も含めて学期に1回は担当者会が開催できるように定着化を図るとともに今年度の課題を整理し、課題を共有した上で小学校から中学校へのスムーズな接続を図りたい。



# 狭間中学校区

狭 間 中 学 校

武 庫 小 学 校

狭 間 小 学 校

ゆ う か り フ レ ン ズ

認定こども園湊川短期大学附属北摂第一幼稚園

認定こども園三田さち幼稚園

# 令和6年度 連携推進活動報告書

## ( 狭 間 ) 中学校区

### ○本年度の中学校区における重点推進テーマ・取組内容

テーマ「夢をえがき 確かな学力で たくましく生きる子ども」

・ほめて のぼす 小中一貫教育のあり方に関する研究  
 ～切れ目のない連携による児童生徒の自己有用感の向上をめざして～

### ○活動内容

月日	時間	内容	参加者	場所
5月13日	10:00～ 11:30	校区校長会	校長	狭間中学校
5月15日	午前	狭間小学校1, 2年生 運動会表現運動見学	ゆうかり園児	狭間小学校
5月16日	9:30～ 10:30	校区教頭会	教頭	狭間中学校
5月20日	午前	狭間小学校1, 2年生 運動会表現運動見学	さち幼稚園児	狭間小学校
5月30日～ 6月5日		★狭間小学校授業公開週間	中学校の希望教職員	狭間小学校
6月3日～ 6月7日		トライやるウィーク	中学校の希望生徒	狭間小、武庫小、北摂第一幼、さち幼、ゆうかり
6月6日～ 6月12日		★狭間中学校授業公開週間	小学校の希望教職員	狭間中学校
6月7日	13:15～ 14:45	小中連絡会(生徒指導)	小中学校生徒指導及び特別支援学級担任	狭間中学校
6月13日～ 6月19日		★武庫小学校授業公開週間	中学校の希望教職員	武庫小学校
8月22日	午前	★小中合同夏季全体研修会	小中学校教員	狭間中学校
8月		ゆうかりフレンズ 公開保育	近隣幼小中職員	ゆうかりフレンズ
10月16日	午前	狭間小学校1, 2年生 音楽会表現見学	さち幼稚園児	狭間小学校
10月18日	午前	狭間小学校1, 2年生 音楽会表現見学	ゆうかり園児	狭間小学校
11月7日		さち幼稚園 公開保育	近隣幼小中職員	さち幼稚園
12月4日	14:25	校区校長会	校長	狭間小学校
12月4日	14:25	小中連絡会(生徒指導)	小中学校生徒指導及び特別支援学級担任	狭間小学校
12月18日 12月19日	午後	狭間中学校 出前授業	中学校教員及び中学校生徒	武庫小学校 狭間小学校
1月16日	午後	校区校長会	校長	武庫小学校
1月16日	午後	小中連絡会	小中学校生徒指導及び特別支援学級担任	武庫小学校
1月24日	午後	狭間中学校 新入生入学説明会	教職員・保護者	狭間中学校
1月31日	午後	★公開研究授業	小中学校教員	狭間小学校
2月4日	午後	武庫小学校 入学説明会及び体験入学	教職員・保護者	武庫小学校
2月12日	15:30～	学校園所連携推進会議	幼・小・中連携担当者	武庫小学校
2月13日		北摂第一幼稚園 公開保育	近隣幼小中職員	北摂第一幼稚園

※今年度の取組の中で、一層の連携推進となった内容に★印を入れてください。

## ○具体的な取組について

### 小中連携

- ・中学校区をめざす子ども像に向かうため、ほめて伸ばすことをテーマに、年間を通して小中連携の取組を計画した。
- ・1学期。小学校授業の良さ中学校授業の良さを交流するために、いつでも公開授業週間を設け、参加可能な教員がお互いの授業を参観しあった。
- ・2学期。効果的な小中連携の仕方を学ぶため、神戸学院大学 人文学部 教授 大西 慎也 先生を講師に招き、合同研修会を実施。小中の教員が混ざり合って話し合う場面を設定した、参加型の研修会とした。
- ・3学期。公開授業研究として、狭間小学校の2年英語、4年算数、6年国語の授業を公開していただき、分科会及び全体会で学びを深めた。
- ・中一ギャップを防ぐ意味をもたせ、中学校から出前授業にきてもらう。生徒会代表より、学校のルールなどを教わる。中学校教員が、体験授業を行う。



### 幼小連携

- ・小1 プロブレムを未然に防ぐため、入学説明会時に新入生と現5年生との交流【体験入学】を行っている。来年度、交流する場面の多い1年生と6年生の関係づくりをするため、ペア児童を事前に決め、校内ウオーラリーと対面での制作活動を実施した。
- ・さち幼稚園児とゆうかりフレンズ園児が、狭間小学校の運動会（1，2年）の練習と音楽会（1年）の練習を見学した。コロナ前から継続している活動である。
- ・各園が年に一回公開保育を実施している。近隣の学校に案内を出し、広く公開している。

## ○ 成果と課題

### 成果（子ども）

- ・交流する中で、年上の子どもは「いいところを見せたい」「やさしくしたい」などの感情を自然と抱き、自己の成長につなげることができた。年下の子どもは「かっこいい」「あんな風になりたい」などあこがれの感情を持ち、自分の行動を変えたり、やる気につなげたりすることができた。また、その姿を継続的に評価することで、活動時の一時的なものではなく、年間を通じた成長につなげることができた。

### 成果（教員）

- ・他校種の教員の子どもへの関わり方や授業の進め方などについて実際に見ることができ、自分の指導に生かすことができた。話を聞くだけでなく、実際に見ることができたことがよかった。

### 課題（共通）

- ・子どもや教員の負担を増やさず、大事なことを残して推進していく必要がある。小中学校の研究会や幼稚園の公開保育の情報共有を密にし、校内で調整しながらできるだけ多くの職員が参加できる体制を整えていきたい。

令和6年5月20日

令和6年度 狭間中学校区小中一貫教育推進計画（案）  
狭間中学校区教頭会

- 1 狭間中学校区の目指す子ども像（狭間中学校区校長会）  
「夢をえがき 確かな学力で たくましく生きる子ども」
- 2 狭間中学校区をめざす小中一貫教育（狭間中学校区教頭会）  
**ほめて のばす 小中一貫教育のあり方に関する研究**  
～切れ目のない連携による児童生徒の自己有用感の向上をめざして～

◇小中一貫教育の軸  
小中一貫教育の軸を、9年間で子どもを育てるという「教師の意識改革」と「必然性」と捉え、それに向けた活動をできるだけ負担のない形で計画的に行う。新しい枠組みを作ることには重きを置かず、同じ目的をもって連携を推進させていく。

◇研究の実態  
研究では、小学校・中学校それぞれの授業改善を目指す。  
小学校授業の良さ（一人一人を見取りながらほめて伸ばしている。個人が活躍できる場面に授業の中に設定している。など）を大事にしながら、中学校教育の必要性（卒業後の進路を見据え、3年間で現実社会への適応能力を身につけさせなければならないこと。教科担任制であるため、一人一人の見取りについて教科をまたいで評価することが小学校よりも難しい。など）を考慮した授業の進め方を研究する。  
教科は、算数・数学と英語に特化して行う予定。他教科については、研究で得た視点を教科の特性に中て活かし、授業改善していく。

◇評価の尺度  
授業改善により児童生徒の自己有用感を向上させていく。各学校評価における児童生徒の自己有用感をはかる質問項目を指標として、評価していく。

- 3 令和6年度 取組構想図（第3期）  
(1)全体での取組  
全体計画・公開授業関係(担当：武庫小)  
全体研修会(担当：狭間中)

公開研究授業 (2学期以降)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学、算数</li> <li>・英語</li> </ul>
小中合同 夏季全体研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師招聘</li> <li>・分科会開催</li> </ul>
1学期いつでも 公開授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校週間</li> <li>・中学校週間</li> </ul>

◇1学期いつでも公開授業  
・ふだんの授業を公開し、他校種職員同士が交流する。期間中はすべてのクラスを公開とする。授業参観は校務運営上、無理のないように設定する。  
・授業参観は、いろいろなクラスを見て回るのではなく、1つのクラスを参観する（ただ、時間が違うため、授業の始めから終わりまで見るができない）。1時間の授業の流れに注目し、それぞれの授業の良さを記録・蓄積し、3校で共有していく。

小学校公開週間	【狭間小】5月30日（木）～6月5日（水）
	【武庫小】6月13日（木）～6月19日（水）
中学校公開週間	6月6日（木）7日（金）1・3年のみ
	6月10日（月）～12日（水）全年生

・時程表と時間割表を共有し、あらかじめ誰がどのクラスに行くのか決めておく。どのクラスに行ってもよい。事前に教頭窓口で集約し、連絡を行う。  
・小学校と中学校間の参観とし、小学校同士は行わない。  
・服務は「狭間中学校区公開授業参観」で出張。

◇小中合同夏季全体研修会  
・8月22日（木）AMを予定。（23日が市教委主催の全体研修会になる可能性があるため）  
・狭間中学校の集會室を会場  
・神戸学院大学人文学部 大西慎也教授を招聘予定。現在交渉中。

◇2学期以降の公開授業  
・1月の狭間小学校研究会に各校より参加。情報を持ち帰り共有する。  
・「学びをつなぐ子の育成」をテーマに、算数・国語・英語の各教科より研究を進めている。

# 八景中学校区

八 景 中 学 校  
三 田 小 学 校  
三 輪 小 学 校  
松 が 丘 小 学 校  
三 田 こ ぼ と 保 育 園  
よ こ や ま 保 育 園  
さ ん だ の も り 保 育 園  
三 田 虹 の 子 保 育 園  
三 田 保 育 所  
三 田 幼 稚 園  
三 輪 幼 稚 園  
松 が 丘 幼 稚 園

# 令和6年度連携推進活動報告書

八景中学校区

○本年度の中学校区における重点推進テーマ・部会組織

☆テーマ「人も自分も、学校園所もふるさと、大切にできる子」	
☆『みんなで育てよう』“がんばりポイント”進んで「自学」どんどん「読書」元気に「運動」	
☆担当部会組織	
①学力向上	②ICT 情報教育
③外国語・外国語活動	④学校評価
⑤生徒指導	⑥特別支援教育
⑦道徳教育	⑧感染症対策
⑨教頭等連絡会	⑩校園長会
⑪保幼・小接続	

八景中学校区連携年間計画に基づき、各部会で取り組み、共通理解を進める。

○取組内容

① 学 力 向 上	<p>【実施回数】 1回 【参加者】 小・中担当者</p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○子どもたちの学力向上に向けての各校の取り組みの交流<ul style="list-style-type: none"><li>・教育課程の進捗状況</li><li>・学力学習状況調査の各校の結果分析</li></ul></li><li>○八景中校区共通の取り組みについて</li><li>○「学びのスタンダード」の定着、「家庭学習の手引き」の充実について<ul style="list-style-type: none"><li>・自主学習の取り組ませ方</li><li>・共通理解すべき内容等</li></ul></li></ul> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果をもとに、中学校区としての学力の分析・共通理解を進めた。「自分にいいところがある」「地域の役に立ちたい」という設問に対して肯定的に回答している割合が、八景中校区はたいへん高かった。「人も自分も学校もふるさと大切にできる子の育成」を共通テーマとあげ、取り組んできた成果が出ていた。</li><li>・多くの情報から必要な情報を取り出し、目的に応じてその情報を整理し、自らの考えをつくる力が求められている。発達段階に応じて、児童生徒が自分の考えを持ったり、討論したりする時間を十分に確保することの重要性を確認した。</li><li>・担当者会の開催は1回だったが、各校の担当者を中心に情報交流が進められ、教育課程上の課題等を共有することができている。</li></ul>
	② I C T 情 報 教 育

	<p>る。</p> <p>○担当者のライングループを用いることで、随時情報を共有したり、確認したりした。 また、年度末の証明書の件についても、証明書を入れる手順の資料を共有することで、Zoom や一斉指導等で児童が処理できるようにした。</p> <p>*来年度も、これまでに作成したものを継続して利用し、ICT 情報教育を推進していく。</p>
--	--

③ 外国語・ 外国語活動	<p>【実施回数】 4回 (内2回 市主催) 【参加者】 小・中担当者</p> <p>【主な内容】</p> <p>○学習の進捗状況の交流</p> <p>○外国語専科教員による公開授業</p> <p>○中学1年生の授業観察と小中連携における円滑な移行についての意見交流</p> <p>○4回目の担当者連絡会は、中学校と各小学校における「出前授業」で行うものとし、各学校同士の情報共有を行う。</p> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の円滑な連携・接続のために、各校の実態と取組を共有することができた。</li> <li>・各校の児童の実態に応じた取組がなされ、「英語科」としての学習が定着してきた。</li> </ul>
--------------------	--

④ 学校評価	<p>【実施回数】 1回 【参加者】 小・中担当者</p> <p>【主な内容】</p> <p>○これまでの流れと昨年度の確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通到達目標 『人も自分も 学校もふるさとも 大切にできる子』</li> <li>・連携推進 4つの柱 <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校生活における基本ルールの共通化</li> <li>②学習活動における基本的なルールの共通化</li> <li>③目標に向かって挑戦する心の育成</li> <li>④学校・ふるさとを大切にすることの育成</li> </ul> </li> </ul> <p>○学校評価の取組交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校学校評価 結果交流</li> <li>・共通項目「自学・読書・運動（なわとび運動を含む）」結果の情報共有</li> </ul> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通項目「自学・読書・なわとび」の結果について、具体的に交流することができた。読書については、児童と保護者に意識の差があり、家庭読書の取り組み方法に課題があることがわかった。</li> <li>・八景中学校では、40周年記念行事が開催され、たくさんの地域の方々に参加いただいたが、アンケートでは、日頃、生徒の地域活動の参加率が低いという結果だった。小学校も含め各地域で今後、どのように地域とのつながりをより深めていくかが課題である。</li> <li>・4校で情報共有した内容を各校で丁寧に保護者・地域へ課題を示し、課題意識を共有した上で、さらに連携して情報発信をしていきたい。</li> </ul>
-----------	--

⑤ 生徒指導	<p>【実施回数】 担当者会4回 出前学活3回 【参加者】 小・中担当者</p> <p>【主な内容】</p> <p>○各校の情報交換（小6児童、中1生徒中心）</p> <p>○公開授業参観（4回）</p> <p>○入学前アンケートの実施</p>
-----------	--

	<p>○生活のきまりの共有 ○出前学活（小6対象）</p> <p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細かく各校の児童・生徒の状況や支援について情報交換している。不登校が増えているが各児童・生徒の対応については連携できている。</li> <li>・生徒指導上の問題行動や児童への配慮事項を入学前に情報交換することで、入学後も比較的スムーズな受け入れができるようになった。</li> <li>・中学校区全体でSSWを活用することにより、多面的に情報交換し、支援につなげることができた。</li> <li>・きょうだい関係での情報交換等も随時行い、指導に活かすことができています。</li> </ul>
--	--

<p>⑥ 特別 支援 教育</p>	<p><b>【実施回数】</b> 4回      <b>【参加者】</b> コーディネーター・小・中担当者</p> <p><b>【主な内容】</b></p> <p>○中学1年生の授業参観と支援について（第1回は1学期に八景中学校で開催）</p> <p>○ケース交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常学級に在籍する児童の授業参観（通級対象児）</li> <li>・支援の方法について（個別の指導計画をもとに）</li> </ul> <p>○通級指導教室での自立活動・教育相談の内容について</p> <p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で支援が必要な生徒の実態から、具体的な支援方法、保護者・関係機関との連携について交流することが出来た。</li> <li>・校内の支援体制について、資料を使って交流することができた。</li> <li>・次年度も今年度と同様の時期、生徒指導との同時開催で、連携を継続していきたい。</li> <li>・今年度は4校とも参観を行うことができた。</li> </ul>
-------------------------------	--

<p>⑦ 教頭 連絡 会</p>	<p><b>【実施回数】</b> 1回      <b>【参加者】</b> 小・中教頭</p> <p><b>【主な内容】</b></p> <p>○本年度の方針、実施計画を共有 （各部会の実施状況等については、各校内にて把握）</p> <p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月に実施した学校園所合同研修会について具体的に計画した。当日は各教科、領域ごとに担当者が分かれ、交流会をもつことができた。また、鳴門教育大学教授 岡田康孝氏に講演をいただき、幼小中で育むべき力について共通理解を深めることができた。</li> <li>・定期的に連絡会を持つことはできなかったが、年度当初に全体の方針を確認して、部会ごとの会を計画的にもつことができた。それぞれの会で共通確認したことを各学校で活かすことができた。各部会の進捗状況、学力向上の取り組みや入学説明会などの学校行事についても、連絡をこまめに取り合って情報交流することができた。</li> </ul>
------------------------------	--

⑧ 校 園 長 会	<p>【実施回数】 2回 【参加者】 小・中学校長、幼稚園長</p> <p>【主な内容】</p> <p>○年度当初と年度末に、取り組み内容や成果と課題についての確認、情報交換等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方針確認、連携の取り組み内容決定</li> <li>・各校園の取組交流、情報交換</li> <li>・振り返りと次年度方針決定</li> </ul> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八景中学校区の実態、共通目標や校園で取り組むべき課題の共有と取組の交流ができた。</li> <li>・各学校の教育課程や、行事のもち方、PTAの現状について等について情報交換を行い、各学校の取り組みに活かすことができた。</li> <li>・令和6年度の共通目標、連携の在り方、各部会の実施計画等、取り組みについて話し合い、次年度の連携につなげることができた。</li> </ul>
--------------------	---

		種別	回数	主な内容	参加者
⑨ 保 幼 小 接 続	松が丘小校区（松が丘小学校・松が丘幼稚園）	子どもの交流	幼小9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校運動会練習見学（1年生）、音楽会練習見学（1、2年生）、1年生授業見学と校長先生とお話タイム、七夕交流（5年生）、冬芝種まき（1年生）、生活発表会練習見学（1、5年生）、図書委員による読み聞かせ（5、6年生）2回、小学校体験入学（1年生）</li> </ul>	幼・小
		教師間交流	担当者会3回、研究会2回、授業・保育参観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動計画、情報交換</li> <li>・活動の振り返りと意見交換</li> <li>・小学校研究会と幼稚園教育研究会</li> <li>・幼稚園教諭の授業見学、小学校教諭の保育参観</li> <li>・幼稚園教諭の運動会見学、小学校教諭の生活発表会見学</li> </ul>	幼・小
	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流を通して、互いに親しみをもって関わり、幼児に寄り添おうとする姿や憧れの気持ち膨らませている姿が見られた。</li> <li>・小学校の音楽会練習を見学することで、様々な楽器を見て楽しみにしたり、小学生になった自分達の姿をイメージしたりして、就学への期待を高めている。また、小学生は見てもらうことでさらに自信や意欲を高めている様子が感じられた。</li> <li>・教師間の交流では、授業見学や保育参観を行うことで、実際の子どもの様子を知り、育ちを共有したり、就学に向けて伝え合ったりするなど、就学を見通した交流となっている。今年度の成果と課題を共有し、次年度に引き継いでいきたい。</li> </ul>				
	三輪小校区	子どもの交流	幼小8回 保幼小4回 保幼18回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事見学、授業見学と参加（生活科・国語科）</li> <li>・行事見学、授業見学と参加 校長先生に質問タイム</li> <li>・交流ウィーク（戸外遊び、自然体験プログラム、水遊び、互いの遊びの持ち寄り）給食交流会</li> </ul>	保幼小

		教師間交流	相互参観 6 回  合同研修会 10 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互参観 事前・事後研修 (互いの教育内容・子どもへのかかわりについて理解を深める)</li> <li>・園内研究会、校内研究会、小学校区保幼小連携に係る担当者会、小学校区幼児教育施設担当者会 (就学前から義務教育終了までを見通して子ども達の学びの連続性を重視した学校園所連携及び接続の推進)</li> </ul>	保幼小
<p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育施設的环境構成を1年生のスタート期の教室環境に取り入れることで、1年生が安心して自分らしさを発揮し、主体的に学びをすすめていく姿につながった。小学校でも子ども達が「やりたい！」と思った時に実現できる教室環境を構成していきたい。</li> <li>・相互参観や合同研修会、交流会を通して、互いの教育、保育を理解し合うことができた。遊びや学習の中に見られる子どもの具体的な姿をカリキュラム上に言語化してつなぐことで、地域ベースのカリキュラムの検討ができるようになった。</li> <li>・行事としての交流ではなく、「普段の保育の中での交流」「互いに遊びを持ち寄る交流」等の工夫を重ねることで、地域の子どもの姿を同じ視点で捉え、学びの芽生えや育まれつつある資質・能力を共通のまなざしで見取ることができるようになった。</li> <li>・人や年度がかわっても持続可能な取り組みとするために、カリキュラムでしっかりつながっていくことが大切である。</li> </ul>					
三田小学校区(三田小学校・三田幼稚園・三田保育所・三田こばと保育園・よこやま保育園)	子どもの交流	保幼小3回	保幼小6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年生生活科の「ウェルカムパーティーをしよう！」に参加し、一緒に遊ぶ。</li> <li>・小学校に行き、1年生の授業の様子を見学する。</li> <li>・国語科の「小学校のことを紹介しよう！」で、作成した紹介ブックを、就学前施設にて活用する。</li> <li>・「友達ウィーク」として、好きな遊びを園庭で一緒に楽しむ。</li> </ul>	保幼小
教師間交流		連絡会3回	幼保交流事後研修会1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動計画と情報交換をする。</li> <li>・活動の振り返りと意見交換をする。</li> </ul>	保幼小
		園内研1回		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「友達ウィーク」を通しての成果と課題について協議する。</li> <li>・三田幼稚園園内研究会を振り返り、子どもの育ちや学びについて協議する。</li> </ul>	幼保 保幼小

		<p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も1年生が企画してくれた“ウェルカムパーティー”に招待してもらい、一緒に遊びを楽しむことができた。1年生が優しく関わってくれたことが嬉しかったようで、小学生が近い存在となり、「小学校が楽しみ」という気持ちにつながった。また、授業参観をさせてもらい、実際の小学校の環境や授業中の雰囲気を知ることができ、小学校への期待感が高まった。</li> <li>・“友達ウィーク”として園庭を開放し、一緒に遊ぶ回数を増やしたことで、子ども同士が自然な姿で関わって遊びを楽しむことが出来た。また、回数を重ねるごとに、名前を覚えたり、小学校で会えることを楽しみにしたりする姿が見られた。</li> <li>・教師間の交流では、子どもの育ちや各園所校での取り組みを共有し、縦と横の連携と、学びをつなげていくことの大切さについて理解し合える機会となった。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">全 般</p>	<p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年度当初にめざす子ども像を共有し、各小学校区の実情に応じた交流方法や内容の工夫を行いながら、取り組みを進めることができた。</li> <li>○交流活動を目的とするのではなく、交流の中で見られる幼児の遊びの中での学びを教職員で共通の視点をもって見つけ、様々な立場からの多様な見方を重ね合わせ語り合うことを通して幼児の多面的な理解へとつなげることができた。</li> <li>○遊びを通して学ぶという幼児期の特性を踏まえた教育は目には見えにくいいため、子どもの育ちや学びを言語化、可視化しながら発信していくことが必要である。</li> <li>○地域の保幼小中が子どもの実態や課題を共有し、接続について共に考え、カリキュラムでつながっていくことが大切である。</li> </ul>

# けやき台中学校区

け や き 台 中 学 校

す ず か け 台 小 学 校

け や き 台 小 学 校

若 草 幼 稚 舎

湊川短期大学附属キッズポート保育園

認定こども園湊川短期大学附属北摂中央幼稚園

三田けやき台認定こども園

(様式1)

## 令和6年度 連携推進活動報告書

( けやき台 ) 中学校区

○本年度の中学校区における重点推進テーマ・取組内容


テーマ「よりよい人間関係を結ぶ力を育てる」～あいさつの活性化～

- ・あいさつの活性化に向けて共通スローガン「あいさつで 心もつながる 地域の輪」
- ・中学校区連絡会の定期開催（年間3回、学期1回）  
授業参観～情報交換（管理職・連携担当・生徒指導担当・特別支援教育コーディネーター・学力向上担当）
- ・学校・園だよりの交流、年間計画の交流
- ・生徒会いじめ撲滅カレンダーの配布
- ・保育・学習指導の交流・・・道徳人権教育のカリキュラム交流、保育・授業参観
- ・小・中学校入学説明会・・・授業参観・部活動見学
- ・入学予定児童生徒及び配慮を要する児童生徒に係る情報交換
- ・全国学力・学習状況調査の結果分析から交流
- ・学力向上の取り組み

○活動内容

月日	時間	内 容	参加者	場 所
5/14 (火)	15:00～	中学校区連携連絡会 (管理職打ち合わせ会) けやき台中学校学校公開	管理職担当のみ (けや中・けや小・すず小・北 摂中央幼・キッズポート保・若 草幼・けやき台幼)	けやき台 中学校
5/29 (水)	14:40～	第1回けやき台中学校区連携連絡会 けやき台中学校学校公開	学校園所連携担当 生徒指導担当・特支コ担当 (けや中・けや小・すず小・北 摂中央幼・キッズポート保・若 草幼・けやき台幼)	けやき台 中学校
9/10 (火)	13:40～	第2回けやき台中学校区連携連絡会 すずかけ台小学校学校公開	管理職・学校園所連携担当 生徒指導担当・特支コ担当 (けや中・けや小・すず小・北 摂中央幼・キッズポート保・若 草幼・けやき台幼)	すずかけ台 小学校
10/18 (金)	15:45～	けやき台中学校区連携連絡会「学力向 上担当部会」 全国学力・学習状況調査結果中学校区 合同分析	学力向上担当 (けや中・けや小・すず小)	けやき台 小学校
2/18 (火)	13:40～	第3回けやき台中学校区連携連絡会 けやき台小学校学校公開	管理職・学校園所連携担当 生徒指導担当・特支コ担当 (けや中・けや小・すず小・北 摂中央幼・キッズポート保・若 草幼・けやき台幼)	けやき台 小学校

○その他

月 日	内 容	参加者	場 所
5月11日	けやき台幼稚園運動会	けやき台幼稚園 園児・保護者 けやき台小学校長	けやき台小学校
5月24日	すずかけ台小学校運動会見学	キッズポート保育園園児(4・5才児)	すずかけ台小学校
6月 3日～ 6月 7日	トライやるウィーク	けやき台中学校2年生生徒 全連携学校園所	全連携学校園所
10月 1日	けやき台小学校運動会練習見学	三田けやき台認定こども園園児	けやき台小学校
10月 5日	キッズポート保育園 運動会	キッズポート保育園 園児・保護者 すずかけ台小学校教頭	キッズポート保育園
10月12日	北摂中央幼稚園 運動会	北摂中央幼稚園 園児・保護者 すずかけ台小学校長	北摂中央幼稚園
10月25日 ～ 11月 5日	「届けよう、服のチカラ」プロジェクト 子供服の収集に、中学校校区内 学校園所が協力	けやき台中学校2年生生徒 全連携学校園所 	けやき台中学校 連携学校園所
10月30日	けやき台小学校音楽会練見学	三田けやき台認定こども園園児	けやき台小学校
10月24日	すずかけ台小学校音楽会練見学	キッズポート保育園園児 北摂中央幼稚園園児	すずかけ台小学校
11月28日	すずかけ台小学校マラソン記録 会応援	キッズポート保育園園児 北摂中央幼稚園園児	すずかけ台小学校
12月19日	けやき台小学校学校訪問	若草幼稚舎園児	けやき台小学校
1月24日	けやき台小学校研究発表会	連携学校園所	けやき台小学校
1月30日	すずかけ台小学校研究発表会	連携学校園所	すずかけ台小学校
1月31日	けやき台中学校入学説明会・ 授業参観・部活動見学	けやき台小学校児童・保護者 すずかけ台小学校児童・保護者	けやき台中学校
2月 4日	けやき台小学校入学説明会・ 体験入学	三田けやき台認定こども園、若草幼 稚舎、北摂中央幼稚園、キッズポー ト保育園 園児・保護者	けやき台小学校
2月 5日	中学校出前授業	けやき台小学校6年生児童	けやき台小学校
2月 5日 18日	すずかけ台小学校学校見学・ 交流会	北摂中央幼稚園園児 (2/5) キッズポート保育園園児 (2/18)	すずかけ台小学校
2月 6日	すずかけ台小学校入学説明会・ 体験入学	三田けやき台認定こども園、若草幼 稚舎、北摂中央幼稚園、キッズポー ト保育園 園児・保護者	すずかけ台小学校
2月 7日	中学校出前授業	すずかけ台小学校6年生児童	すずかけ台小学校

## ○具体的な取り組みについて

- ① 年度当初に管理職会を行い、テーマや年間計画を立てた。共通テーマ「よりよい人間関係を結ぶ力を育てる～あいさつの活性化～」を継続し、あいさつの活性化に向けた取り組みを進めることとなった。
- ② 連携連絡会では、授業参観後、全体会で今年度のテーマの確認、取り組み計画・推進について協議した。
- ③ 全体会后、各部会（管理職、連携担当、生徒指導、特別支援コーディネーター）に分かれて、それぞれの情報交流を行った。
- ④ 昨年度より、新たに加えた学力向上担当部会により、全国学力・学習状況調査結果中学校区合同分析だけでなく、各校の研究発表会に参加し、各校の取り組みを共有した。
- ⑤ 生徒指導、特別支援の観点から、早期に児童の情報交流を図り、中1ギャップ、小1プロブレムの解消を図った。
- ⑥ 学校園だよりの交流をした。
- ⑦ けやき台中学校生徒会が作成した「いじめ撲滅カレンダー」を配布し、各学校園所に掲示した。
- ⑧ 小中一貫校育推進計画書が作成した。各学校のめざす児童像・生徒像をもとに、小中9年間を見据えためざす子ども像として、「夢を持ち、自分も友だちも、学校もふるさとも大切にすると設定し、共通の目標に向かった取り組みを推進した。
- ⑨ 保幼小の円滑な接続に向け、接続期のカリキュラムの作成を進めた。

## ○各中学校区が各担当教員で連携した主な内容

### 【管理職】

- ・課題と取組について情報共有、方針決定
- ・各担当における評価と検証

### 【生徒指導】

- ・生徒指導に関する共通目標を設定・生徒指導事案について
- ・学校のルール、生徒指導方法等の共有
- ・問題行動、不登校等についての情報共有（児童生徒理解・教育支援シートの活用）
- ・巡回パトロールの実施状況

### 【学校園所連携担当】

- ・保幼小中の相互の連携について（各種行事等を通じた効果的な交流等、連絡調整）
- ・出前授業・体験授業の企画、調整
- ・トライやるウィーク（読み聞かせ・ようこそ先輩の取り組み）
- ・“服のチカラ”プロジェクト
- ・連携担当として、（現状を受けて）中学校に向けてどんな児童・生徒を育てたいか。
- ・身につけさせたい生活、学習習慣の目安
- ・発達段階に応じた生活習慣、学習習慣の定着への取り組み
- ・保幼小接続カリキュラムに基づく、育てたい力を意識した保育・教育の実践
- ・入園、入学に向けてつけたい力とは（現状と課題）

### 【特別支援教育コーディネーター担当】

- ・配慮を要する児童についての情報交換（通常学級在籍）
- ・中学校でも通級指導を希望する児童についての情報交換
- ・引継ぎの時期、方法について
- ・保護者と学校との連携について
- ・各校での合理的配慮やUD

### 【学力向上担当】

- ・共通した学習規律の実践（家庭学習の時間や学び方など）
- ・保育・学習指導の交流（保育・授業参観）
- ・授業づくりについての交流（英語、算数・数学）
- ・研究発表会や研究授業への相互参加
- ・全国学力・学習状況調査の共同分析を通して交流

## ○課題と成果

### ① テーマの取り組みについて

- ・ 昨年同様に「より良い人間関係を結ぶ力を育てる～あいさつの活性化～」をテーマに基づき、「あいさつで心もつながる地域の輪」を掲げて取り組みを実施した。
- ・ 各学校園所では、小学校では児童会、中学校では生徒会が中心となってあいさつの啓発活動を実践してきた。
- ・ しかし、あいさつ活動を地域（まち）全体で一体となって広げていく実践が課題である。学校園所で日常的に実践している活動が地域全体に広められる具体的な対策が求められている。

### ② 学校園所の連携について

- ・ 連携組織体制のもと、日ごろから学校園所で密に連携の取り組みがなされている。
- ・ 園所の子どもが、小学生の姿を見たり、小学生が中学生の姿を見たりすることにより、自分もこうなりたいという思いと見通しを持つことができる。また、上の児童・生徒にとっても頑張ろうとするモチベーションになっている。
- ・ 学校園所で定期的に連絡会を持つことで、中学校区全体としての子どもの状況や課題を共有することにつながっている。各学校園所の運営面でも情報交換により参考になることが多い。

### ③ 情報交流による様々な効果

- ・ 各部会で管理職、生徒指導担当、特別支援コーディネーター、学校園所連携担当、学力向上担当とそれぞれの立場で情報交流をすることにより入学時のスムーズな入学生の受け入れ体制が実践できている。特に支援や配慮が必要な児童については、特別支援コーディネーター担当部会にて詳細に児童の情報共有ができた。
- ・ 各学校園所の課題や問題を共有することでそれぞれの学校園所の実践を見直す機会になった。
- ・ 学力向上部会においては、学力・学習状況調査の共同分析等を通して、小学校からの「つながり」を意識した学びについて検討することができた。さらに、小中学校の教員が直接、児童生徒の学びの姿を見、話し合う機会を設けることで、「連携や接続」を意識した学びの実現を図れるよう、今後も学びの継続と積み上げに向けた実践事例を増やす取り組みを推進していく。
- ・ 中学校主催の入学説明会では、全児童が参加することで、中学校に対する興味関心を持つことができた。特に学習や部活動についての不安を丁寧に説明することで児童に安心感を与えることができた。来年度は、授業見学、小学校への出前授業、入学説明会等の持ち方について、より効果的な方法を検討する予定である。

# 富士中学校区

富 士 中 学 校

富 士 小 学 校

弥 生 小 学 校

ひまわり特別支援学校

認定こども園ふじ幼稚園

認定こども園やよい幼稚園

(様式例)

## 令和6年度 連携推進活動報告書

( 富士 ) 中学校区

### ○本年度の中学校区における重点推進テーマ・取組内容

テーマ「～保幼小中特の連続した発達や学びを支える教育の充実をめざして～」

<めざす子ども像> 人との豊かなつながりの中で

明るく元気に学ぶ子 あいさつができる子 思いやりのある子

- ・各学期に学校園所連携連絡会（授業見学会・各部会）を開催し、各校の分掌担当者を中心に情報交換等を行い、課題や今後の連携のあり方等について意見交流を行う。
- ・年2回の児童生徒交流会を行い、園児・児童・生徒の交流を図り、中学校区における児童会及び生徒会活動の活性化や充実を目指す。
- ・今後の教職員及び園児・児童・生徒の連携・交流に向けて検討を進める。
- ・ひまわり特別支援学校との共同学習の推進。

### ○活動内容

月日	時間	内容	参加者	場所
5月9日(木)	10:00	富士中学校区4校校長会 ・今年度の連携推進についての方向性と取組内容の確認	各学校長	ひまわり特別支援学校 中高等部
5月30日(木)	16:00	富士中学校区4校教頭会 ・今年度の連携推進における取組内容の詳細について確認	各教頭	富士中学校
6月18日(火)	10:45 12:20	第1回富士中学校区学校園所連携連絡会 ・授業見学会 富士小学校 ひまわり特別支援学校(小)	富士中校区の幼・小・中・特の全教員を対象	各開催校 ・各教室等
6月20日(木)	10:45 12:20	・授業見学会 弥生小学校		
6月21日(金)	9:50 15:25 16:00 16:45	・授業見学会 富士中学校 ひまわり特別支援学校(中) ・部活動見学会 富士中学校		
8月2日(金)	9:00 10:30	★第1回児童生徒交流会 ・各校における1学期の児童会・生徒会の活動等について紹介 ・共通の取り組みについて提案、協議(あいさつ運動、募金活動など) ・ひまわり特別支援学校10周年にむけて ・第2回の交流会に向けての提案(報告等)	富士中校区の小・中・特の児童会・生徒会役員及び各校の担当教員	富士中学校 ・被服室

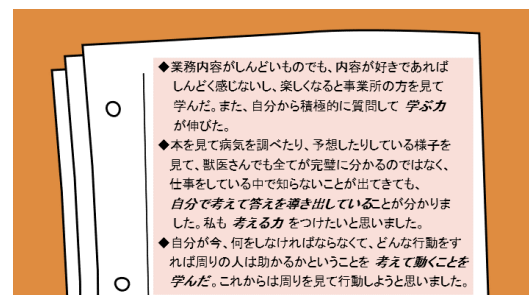
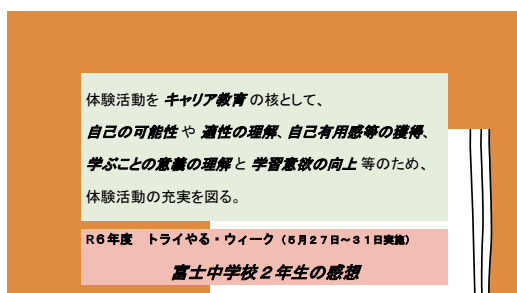
	11:00 11:30 11:40 12:30	<b>第2回富士中学校区学校園所連携連絡会</b> <b>★全体会</b> 「小中一貫教育の推進 ～中学校卒業時に向けた進路指導について～」 ※9・11年間を見通した生活・学習指導について共有する。卒園・卒業時まで子どもたちに身に着けておきたい力について考える。 ・各部会 (学習指導部・生徒指導部・道徳人権教育部・特別支援教育部) ※児童生徒交流部会はなし	富士中校区の 幼・小・中・特の全 教員を対象	富士中学校 ・体育館 (武道場)  ・各教室
11月12日(火)	未定	<b>第3回富士中学校区学校園所連携連絡会</b> ・授業見学会 ・各部会の開催 (学習指導部・生徒指導部・道徳人権教育部・特別支援教育部) ※児童生徒交流部会はなし	富士中校区の 幼・小・中・特の教 頭・各部会担当教員 を中心に全教員を 対象	富士小 ひまわり小学部 ・各教室
1月17日(金)	13:10 15:00  13:10 16:30	<b>第4回富士中学校区学校園所連携連絡会</b> ・授業見学会 富士中学校 ひまわり特別支援学校 中 ※オープンスクールと同時開催 ※各部会の開催なし 富士中学校入学説明会・制服採寸・部活動見学	富士中校区の 幼・小・中・特の教 頭・各部会担当教員 を中心に全教員を 対象 入学予定の児童 及び保護者	富士中 ひまわり中学部 ・各教室  富士中 ・体育館等
2月4日(火)	15:45 16:45	<b>第2回児童生徒交流会</b> ・自己紹介(新役員) ・各校における2学期以降の児童会・生徒会の活動等について紹介 ・共通の取り組みについて交流 ・次年度の交流会に向けての提案	富士中校区の 小・中・特の 児童会・生徒会役員 及び各校の担当教 員	富士中 ・被服室
2月12日(水)	10:45 15:40 16:45	<b>第5回富士中学校区学校園所連携連絡会</b> ・授業見学会 弥生小学校 ・各部会の開催 (学習指導部・生徒指導部・道徳人権教育部・特別支援教育部) ※児童生徒交流部会はなし	富士中校区の 幼・小・中・特の教 頭・各部会担当教員 を中心に全教員を 対象	弥生小 ・各教室

※今年度の取組の中で、一層の連携推進となった内容に★印を入れてください。

## ○具体的な取組について

### 1 第2回富士中学校区学校園所連携連絡会の『★全体会』

◆「小中一貫教育の推進～中学校卒業時に向けた進路指導について～」の内容で、富士中学校区学の学校園所全教員を対象に9・11年間を見通した生活・学習指導についての研修会を実施。中学校を卒業するまでに、子どもたちが身に着けておきたい様々な『力』について共有。各学校園所における発達段階に応じた教育活動の参考とした。





## ○ 成果と課題

### 【成果】

- 各校における各部会の担当者が、学校の窓口となり交流後の連携に取り組むことができた。
- 生徒への支援や指導、家庭との連携が行えるよう、中学校区における情報連携についてはしっかり取り組んでいる状況である。更に効果的な支援等について共有していけるよう、今後も連携していく。
- 連携により、適切な就学指導と個に応じた教育支援のあり方が検討、協議、実践されている。
- 児童会・生徒会の取り組み内容について、各校が工夫していることを報告し合い、次年度の活動につなげることができた。次年度、中学校に入学する児童と生徒会役員が交流できたことにより、つながりを持つことができた。

### 【課題】

- 道徳の授業における指導法と評価、人権教育推進における課題等を共有し、横の連携や縦のつながりを重視した取り組みを行っていく。
- 各学校園所における発達段階に応じた教育活動の在り方を検討し、生活面や学習面において9年・11年を見通した実践が必要である。
- 小中一貫教育におけるカリキュラムの作成。

# 藍中学校区

藍 中 学 校

藍 小 学 校

つつじが丘小学校

あいの保育園

三田つつじが丘認定こども園

みつば幼稚園

(様式例)

## 令和6年度 連携推進活動報告書

( 藍 ) 中学校区

### ○本年度の中学校区における重点推進テーマ・取組内容

テーマ「夢や希望を語る子の育成」～夢や希望を語るができる力の育成のために～

- ・語彙力の育成（図書館教育の充実・書く・表現する力の育成）
- ・基礎学力の定着・学力向上を目指した授業改善
- ・自主的な生徒会・児童会活動で主体性を養う
- ・ルールやマナーについて考えさせ、社会性を養う
- ・自己肯定感をはぐくむ人権教育・道徳教育の充実

### ○活動内容

月日	時間	内容	参加者	場所
6月4日	2時間	・テーマと目標決定 ・授業参観 ・情報交換	管理職 連携担当者	藍中学校
7月29日 ★	5時間	・人権研修 ・小中一貫教育研修 ・中間報告	管理職 小中学校教員	藍市民センター
10月8日 ★	2, 3時間 目	・幼、中交流会（つつじが丘認定こども園、藍中）	中学3年生 年長園児	藍中学校
10月28日	2時間	・道徳・人権授業参観 ・研究協議	管理職 小中学校教員	藍小学校
12月4日	2時間	・特別支援学級小中交流会	管理職 小中学校教員 学校教員 特別支援学校教員 小中特別支援学級・学校生	藍中学校
1月22日	3時間	・中学校授業体験 ・入学説明会 ・部活動参観	管理職 中学校教員 小学6年生	藍中学校
1月30日	2時間	・授業参観 ・情報交換 ・今年度の振り返り	管理職 連携担当者	つつじが丘小学校
2月18日	2時間	・幼小交流会（藍小、みつば幼稚園） 学校探検、ゲーム など	小学5年生 年長園児	藍小学校
1月9日～ 2月4日	4時間	・新入生の情報収集のため、藍小学校教員が次年度入学児童の在園している各園に訪問	4園の指導者 藍小学校教員	あいの保育園 みどり保育園 つつじが丘幼稚園 みつば幼稚園

2月14日 3月6日 予定	1時間 1時間	・出前学活（藍小） ・出前学活（つつじ小）	中学校教員 小学6年生	藍中学校
---------------------	------------	--------------------------	----------------	------

※今年度の取組の中で、一層の連携推進となった内容に★印を入れてください。

○具体的な取組について

※活動の様子がわかる写真を2枚程度入れてください。  
※作成した資料や組織図等があれば一緒に提出してください。



○ 成果と課題

今年度、学校園所連携の成果として、まず、テーマを具体的で実行しやすいものに見直したことで、取り組みの方向性が明確になり、実践の質が向上した。従来は担当者単位での連携が中心だったが、学校全体の取り組みとして体系化したことで、継続的で一貫性のある連携が可能となった。また、各分科会で目標を設定し、3年間という長期的な視点をもって議論を深めることで、計画的な実践が進んだ。さらに、定期的な情報交換を行うことで、児童生徒の状況をより正確に把握しやすくなり、適切な支援につなげることができた。

一方で、中学生における課題として、学習習慣や生活習慣の定着が十分でない点が挙げられる。この課題を改善するためには、学校園所がさらに連携を強化し、学習や生活の基盤となる習慣づくりに向けた体系的な指導や支援を充実させることが必要である。

# 令和6年度 藍中学校区学校園所連携について

## 1. 目的

藍中学校区全体で幼児期から児童期の円滑な接続、保・幼・小・中一貫した取り組みの充実に努め、「めざす子ども像」共有し、合同研修・相互参観等の学びのつながり・指導方法等に関する意見交換を深め、連携を推進する。

## 2. めざす子ども像 及び テーマ

「夢や希望を語れる子の育成」

～夢や希望を語るができる力の育成のために～

- ・語彙力の育成（図書館教育の充実・書く・表現する力の育成）
- ・基礎学力の定着・学力向上を目指した授業改善
- ・自主的な生徒会・児童会活動で主体性を養う
- ・ルールやマナーについて考えさせ、社会性を養う
- ・自己肯定感をはぐくむ人権教育・道徳教育の充実

## 3. 学校園所連携構成団体[6団体] ※企画・実施は小中学校で行う

藍小学校、つつじが丘小学校、藍中学校

あいの保育園、三田つつじが丘認定こども園、認定こども園みつば幼稚園

## 4. 年間の連携について

### ○連携体制（実践）

- ・「授業公開」（各小中学校、年に1回、学期ごとに実施）

【1、3学期】授業参観（指導案なし）

【2学期】道徳研究授業（要指導案・研究協議あり）

※授業参観と道徳研究授業は、年度ごとにローテーションする

（令和6年度 1学期→藍中、2学期→藍小、3学期→つつじが丘小）

- ・「人権・道徳研修会」（夏休みに三校研として実施）

※三校研研修担当校が企画（R6→藍小、R7→藍中、R8→つつじが丘小）

- ・「分科会」（各学期の授業公開、夏休みの小中一貫教育後に実施）

※小中学校の先生は、各分科会について各校1名以上の参加

※あいの保育園、三田つつじが丘認定こども園、認定こども園みつば幼稚園の先生は、

BとDのみの参加

### ○参加体制

【1、3学期の授業公開、分科会】 保幼小中の各分科会担当のみ

【2学期の道徳研究授業】 小中3校の全職員

【夏休みの人権・道徳研修会、分科会】 小中3校の全職員

## 5 分科会について

## A 道徳・人権 【図書室(2階)】

【担当】道徳(人権)教育担当

【内容】(共通目標の設定と振り返りは必須とします)

- ・道徳・人権教育の情報交換と課題の共有
- ・道徳・人権教育における共通目標の設定(1学期)、振り返り(3学期)
- ・道徳の小中一貫カリキュラム作成
- ・3校研の企画・運営(教員研修・研究授業)
- ・解放学級(開放タイム)の企画・運営(交流会含む)

## B 児童・生徒指導、児童・生徒会、特活 【会議室(1階)】

【担当】児童・生徒指導担当・児童・生徒会担当・特活担当

【内容】(共通目標の設定と振り返りは必須とします)

- ・児童・生徒情報交換と課題の共有
- ・児童・生徒指導、児童・生徒会、特活における共通目標の設定(1学期)、振り返り(3学期)
- ・授業規律、校則、スマホルール等の情報交換と最低限の共通項の確立
- ・児童・生徒会を中心に共通した取り組みの実施(例:地域清掃、あいさつ運動)
- ・保幼小中…生活の決まりや生活習慣等について発達段階に応じて身につけたい力を考え、連携シートにまとめ、最終的に校区に配布(1~2年間検討)
- ・キャリア教育 パスポートの引継ぎ

## C 学習連携(小中一貫教育) 【被服室(2階)】

【担当】学校園所連携担当、小中一貫教育担当、国語担当、算数・数学担当、英語担当

【内容】(共通目標の設定と振り返りは必須とします)

- ・学習状況における情報交換(ICT活用状況も含む)と課題の共有
- ・学習における共通目標の設定(1学期)、振り返り(3学期)
- ・学テの共通分析から校区児童生徒の課題に応じた学習指導について検討
- ・藍中校区版ひとり学びの手引き作成・見直し
- ・小中一貫教育「目指すこども像」実現に向けてカリキュラム連携
- ・国語、数学(算数)、英語の小中一貫カリキュラム作成
- ・小中学習習慣の確立に向けた連携シートの作成

## D 特別支援教育 【チャレンジI(1階)】

【担当】特別支援学級担任・コーディネーター担当

【内容】(共通目標の設定と振り返りは必須とします)

- ・特別支援教育における情報交換と課題の共有
- ・特別支援教育における共通目標の設定(1学期)、振り返り(3学期)
- ・発達段階に応じた身につけさせたい力の共有
- ・中学校卒業後の進路と必要とされる力

※当日の分科会等の司会・記録は開催校が担当→終了後記録を他校に配布

割り当てローテーション表

	R6	R7	R8
幹事校(計画・報告) 管理職	藍中学校	つつじが丘小学校	藍小学校
三校研(人権・道徳) (三校研担当校)	藍小学校	藍中学校	つつじが丘小学校
コミスク研修担当	つつじが丘小学校	藍小学校	藍中学校

授業参観ローテ	R6	R7	R8
1学期	藍中学校	つつじが丘小学校	藍小学校
2学期(道徳) 三校研を兼ねる	藍小学校	藍中学校	つつじが丘小学校
3学期	つつじが丘小学校	藍小学校	藍中学校

# みんなで育てよう

【中学校区の保幼・小中連携した取り組み】

## 将来の夢や目標を持ち、挑戦する園児・児童・生徒

家庭で意識してほしいこと

- ・子どもと触れあう時間を大切に。
- ・子どもと一緒に、絵本に親しむ。
- ・簡単なお手伝いができるようにする

- ・子どもが学習をしているそばにいる。
- ・子どもと会話する。
- ・子どもがした学校の用途を一緒に確かめる。

- ・1日1回以上、顔を見てあいさつをする。
- ・親子で1日最低30分間、ICT使用のルールを守る。
- ・携帯電話やゲーム等のICT使用のルールを守る。



**共通重点項目**

- ①あいさつ、言葉づかい、
- ②当番活動をしつかりする。
- ③提出物を出す、忘れ物をしない。

### 生活のきまり

- ・身近な人にすずんであいさつをする。
- ・ありがとう、ごめんなさい等の気持ちを伝える。
- ・生活に必要な習慣を身につけて、自分ができることをする。

- ・校外で出会った人に自分から、元気よくあいさつをする。
- ・「～です」「～ます」を使って話す。
- ・基本的な生活習慣を身につけ、約束やマナーを守る。

- ・校外で出会った人に適切な声の大きさであいさつをする。
- ・「～です」「～ます」を使ってはつきり話す。
- ・集団や社会のきまりを理解し、それらを守る。

- ・自ら率先してあいさつし、時と場合に応じた言葉遣いと、受け答えをする。
- ・「～です」「～ます」を使い、丁寧な言葉遣いをする。
- ・一般的な約束や、社会のきまりを理解して、それらを守り、自覚と責任ある行動をとる。

- ・時と場に応じた適切な言葉遣いと行動をし、気持ちのいいあいさつをする。
- ・規範ある生活をし、法やきまりを守り、社会の一員としての自覚を持つ。

### 中学校

#### 小学校高学年

- ・学習の準備を終わって休み時間を過ごし、時計を見て、授業が始まるまでに着席する。
- ・話す人の顔を見て最後まで黙って話を聴く。
- ・積極的に発表をする。

#### 小学校中学年

- ・休み時間に学習の準備をし、時計を見て授業が始まるまでに着席する。
- ・話す人の顔を見て最後まで黙って話を聴く。

#### 小学校低学年

- ・時計を見て、授業が始まるまでに着席する。
- ・話す人の方を向き、最後まで黙って話を聴く。

#### 保育園・幼稚園

- ・友達や先生の顔を見ながら聴こうとする。
- ・園生活の流れが分かり、時間を守るようにする。



子どもに心掛けてほしいこと

- ・おうちの人に、幼稚園での出来事や、思ったこと、感じたことを話す。
- ・おうちの人と一緒に、次の日の準備をする。

- ・遊ぶ時間と、学習時間を守る。
- ・宿題や予習・復習をきちんとする。
- ・次の日の準備をきちんとする。

- ・家読書をする。(家族みんなで読書する)
- ・決まった時間、学習をする。
- ・携帯電話やゲーム等のICT使用のルールを守る。

### 学習のきまり

**共通重点項目**

- ①時間を守る。
- ②話をしつかり聴く、
- ③宿題をする。

三田市藍中学校区プログラミング教育及びICT活用実践年間指導計画モデル

		1学期		2学期		3学期	
1年	プログラミング 教ミロ 青ソグ	分類・教科・単元名 教材	A-道徳(情報モラル) Safari	C-その他(タブレットでなぬに) iPod	C-その他(タブレットでなぬに) iPod	C-その他(プログラミングでなぬに) Eスケッチ	C-その他(プログラミングでなぬに) Eスケッチ
	ICT活用実践力	モラル	起動・終了・写真・動画撮影 C-その他(おいしい絵を動かそう)	起動・終了・写真・動画撮影 C-その他(おいしい絵を動かそう)	起動・終了・写真・動画撮影 Eスケッチ	手書き入力 Eスケッチ	手書き入力 Eスケッチ
2年	プログラミング 教ミロ 青ソグ	分類・教科・単元名 教材					
	ICT活用実践力		手書き入力	手書き入力	手書き入力	手書き入力	リアルタイム共同作業
3年	プログラミング 教ミロ 青ソグ	分類・教科・単元名 教材	A-種まごう カメラアプリ Android	A-国語(ローマ字) 9イビングアアプリ	A-昆虫の体のつくり カメラ,Safari,デジタル教科書,タブレット	A-国語(いろいろな絵) カメラ, SketchesStudio	C-その他(9イビングを知ろう) 9イビングアプリ
	ICT活用実践力	電子的な情報の送受信 A-季節に生き物 カメラ,自然観察,タブレット	9イビング	写真撮影、動画撮影、拡大、回転 A-面積 カメラ,ミラタブレット	画像編集	9イビング	A-国語(調べたことをほうごしよう) Numbers
4年	プログラミング 教ミロ 青ソグ	分類・教科・単元名 教材					
	ICT活用実践力	写真撮影	A-総合(自然学校について知ろう) Keynote, Safari, chrome	A-総合(自然学校に向けて) Keynote, imovie	A-総合(自然学校について伝えよう) Keynote, imovie	A-算数(円と正多角形) 教科書付属QRコード Scratch3.0	A-理科(電気のはたらき) Web2.0
5年	プログラミング 教ミロ 青ソグ	分類・教科・単元名 教材					
	ICT活用実践力		A-総合(修学旅行について知ろう) Keynote, Safari, chrome	A-総合(修学旅行に向けて) Keynote,Safari,chrome	A-総合(修学旅行について伝えよう) Keynote,Safari,chrome	目的に応じたアプリの選択と操作 リアルタイム共同作業	
6年	プログラミング 教ミロ 青ソグ	分類・教科・単元名 教材					
	ICT活用実践力		キーノート インターネットの閲覧	キーノート インターネットの閲覧、電子ファイルの呼び出し保存、プレゼンテーションの作成	キーノート インターネットの閲覧、電子ファイルの呼び出し保存、プレゼンテーションの作成		
中1 (7年)	プログラミング 教ミロ 青ソグ	内容・題材 教材	D-1 情報モラル カメラ, safari	D-1 情報のデジタル化 カメラ,Softiキーノート	D-1 情報セキュリティ Softi	D-1 著作権 Softi	
	ICT活用実践力	インターネットの閲覧	インターネットの閲覧	インターネットの閲覧	インターネットの閲覧		
中2 (8年)	プログラミング 教ミロ 青ソグ	内容・題材 教材	D-1 デジタル作品の 設計・制作 パワーポイント	D-3 制御システム リアルタイム共同作業	D-3 問題解決の方法 リアルタイム共同作業	D-3 分岐(繰り返し処理を使う) リアルタイム共同作業	D-1 センサで制御する リアルタイム共同作業
	ICT活用実践力	プレゼンテーションの作成	D-4 マイクロビット制御 制御回路	D-1 情報通信ネットワーク リアルタイム共同作業	D-1 デジタル作品の 設計・制作 PCソフト	D-2 無線通信機能を使う リアルタイム共同作業	
中3 (9年)	プログラミング 教ミロ 青ソグ	内容・題材 教材	D-2 無線通信機能を使う 制御する マイクロボット	D-4 マイクロビット制御 制御回路	D-1 情報通信ネットワーク リアルタイム共同作業		
	ICT活用実践力	リアルタイム共同作業	リアルタイム共同作業	リアルタイム共同作業	リアルタイム共同作業		
			演習協議実施日 令和5年12月11日				
			校区名 藍中学校区				
			参加者所属 三田市立藍中学校				
			参加者氏名 酒井 浩				

# ゆりのき台中学校区

ゆりのき台中学校  
あかしあ台小学校  
学園小学校  
ゆりのき台小学校  
光の子保育園  
認定こども園三田あさひ幼稚園  
認定こども園湊川短期大学附属北摂学園幼稚園  
神戸親和女子大学附属親和幼稚園  
ほしのさと保育園

# 令和6年度 連携推進活動報告書

## ( ゆりのき台 ) 中学校区

### ○本年度の中学校区における重点推進テーマ・取組内容

テーマ『「夢」を描き、「未来」に向かって、「ひと」とつながり、前進する子』

- ・自ら学び、自分の生活に生かそうとする子
- ・優しく思いやりの心を持ち、人と関わろうとする子
- ・自分や人の、命・体を大切にする子
- ・目標に向かって、最後まで粘り強く取り組む子

★発達や学びの連続性の充実

★各部会における活動計画の実施（授業実践交流やカリキュラムの検討・作成、各校の研究発表会への参加等）

### ○活動内容

月日	時間	内容	参加者	場所
5・14	2時間半	第1回小中学校校長連絡会（1年参観）	小・中学校長	ゆりのき台中学校
5月中	1時間	各小学校運動会練習見学	各連携保幼園児	校区3小学校
5・27～31	7時間	トライやるウィーク	ゆりのき台中学校2年生・全連携学校園所	全連携学校園所
6・8	2時間	教頭・小中一貫教育推進連絡会	小・中教頭 連携担当	学園小学校
7・3	2時間	第1回生徒指導小中連絡会	小・中学校生指担当	ゆりのき台中学校
7・5	2時間	第2回小中学校校長連絡会（参観）	小・中学校長	あかしあ台小学校
7・16	1時間	6年薬物乱用防止教室（授業見学）	小・中学校保健担当者	ゆりのき台小学校
7・17	1時間	6年SCによる講話授業（授業見学）	小・中学校保健担当者	ゆりのき台小学校
7・18	2時間	小中一貫教育 教育課程部会	小・中学校担当者	あかしあ台小学校
7・25	2時間	★小中一貫教育 特別支援教育②部会	小・中学校コーディネーター	ゆりのき台中学校
6・13、14	2時間	就学前学校見学会	希望する保護者・就学前児童	関係校区小学校
9・24	1時間	小中一貫教育 情報教育部会	小・中学校情報教育担当	教育委員会南分館
10・3	1時間	3年 歯科衛生指導（授業見学）	小・中学校保健担当者	あかしあ台小学校
10月中	1時間	各小学校音楽会練習見学	各連携保幼園児	校区3小学校
10・11	2時間	第3回小中学校校長連絡会（参観）	小・中学校長	学園小学校
10・15	2時間	小中一貫教育 人権部会	小・中学校人権担当	教育委員会南分館
10・30	1時間	「性と生を考える」講演会	小・中学校保健担当者	ゆりのき台中学校
11・1	5時間	中学校文化祭合唱コンクール審査	小中学校管理職・音楽担当	ゆりのき台中学校
11・12	2時間	第2回生徒指導小中連絡会	小・中学校生指担当	あかしあ台小学校
11・20	2時間	ゆりのき台小学校研究会(学力向上部会参加)	中学校学力向上担当等	ゆりのき台小学校
11・29	3時間	学園小学校道徳研究会(人権部会参加)	小・中学校人権担当等	学園小学校
12～1月	2時間	各幼稚園と1年担任との懇談会	各幼稚園担当・各小1年担任・管理職	校区3小学校
1・16	2時間	小中一貫教育 教育課程部会	小・中学校担当者	あかしあ台小学校
1・24	2時間	ゆりのき台中学校入学説明会	小学校3校6年生保護者	ゆりのき台中学校

1月中	2時間	各校6年生児童授業参観	小・中特支担当者	校区3小学校
1・30	2時間	★小中一貫教育 特別支援教育①部会	小・中特支担当者	ゆりのき台中学校
2・12	2時間	第4回小中学校校長連絡会（6年参観）	小・中学校長	ゆりのき台小学校
2・7	2時間	第3回生徒指導小中連絡会	小・中学校生徒指導	学園小学校
2月中	2時間	特別支援学級担任による引継ぎ	小中学校管理職・特支担任	校区3小学校
1～2月	2時間	★小学校入学説明会（児童との交流）	新1・5年生（1年生）	校区3小学校
2月	1時間	★小学1年生の授業見学	各連携保育園児	校区3小学校
2・28	2時間	小中一貫教育 情報教育部会	小・中学校情報教育担当	ゆりのき台小学校
2月～3月	1時間	各小学校への出前授業（英語）	6年・中学校英語担当	校区3小学校
3月上	1時間	★各小学校への出前授業（特活）	6年・中学校生徒指導担当	校区3小学校
3・6	1時間	3年 歯科衛生指導（授業見学）	小・中学校保健担当者	小学校
3月下旬	2時間	新入生（小6）情報交換会	小6担任・中学校生徒指導等	校区3小学校

※今年度の取組の中で、一層の連携推進となった内容に★印を入れてください。

## 〇具体的な取組について

年度当初の校長連絡会で、テーマの確認、小中一貫教育推進計画書の作成など、連携の方針の共有を図る。

- ① 校長連絡会での方針を受け、教頭・小中一貫教育連絡会で、今年度の各部会の窓口となる担当者の確認や各部会の具体的な推進の周知を図る。
- ② 11の各部会(校長連絡会、教頭・小中一貫教育、生徒指導、教育課程、学力向上、特別支援教育①②)、学校保健、情報教育、道徳・人権教育、外国語)で、それぞれ年間計画を立てて、授業参観や情報交流など小中一貫教育及び学校園所連携を進める。
- ③ 生徒指導、特別支援、学校保健の観点から、早期に園児・児童の情報交流を図り、保幼小の円滑な接続を図るとともに、中一ギャップの解消に努める。
- ④ 各校の研究会・公開授業などに積極的な参加する。
- ⑤ トライやる、出前授業、体験入学、各行事での交流等、園児・児童・生徒の交流を行う。
- ⑥ 学校園だよりの交流をする。



トライやるウィークで中学生の講話(中2年生と6年生) 入学説明会での体験交流会(新1年生・1年生・5年生)

## ○成果と課題

- 校長連絡会や各部会での情報交換や、互いの行事参観、授業参観を行うことにより、様々な角度から、「それぞれの学校の取り組み」や「児童・生徒の状況」に関する理解が深まり、共通の課題をとらえることができた。
- 園児と児童の交流により、子どもどうしの交流が広がり、園児においては、小学校という環境の変化による不安解消につながった。また、児童においては、交流することにより、来年度に向けての新1年生に対して、高学年としての意識が高まった。
- 保幼小の連携で、運動会や音楽会の練習の見学を通じた効果的な取り組みができた。
- 一年生担任・管理職と各連携幼稚園との懇談会を持ち、保幼小接続カリキュラムに基づく、育てたい力を意識した保育・教育の実践やカリキュラムの交流ができた。
- トライやる・ウィーク実施により、園児・児童と生徒の交流ができた。また生徒会や吹奏楽部、希望者、希望ボランティアが、地域のイベントに積極的に参加する姿が見られた。
- 学校園所の連携については、各小学校区の連携組織体制のもと、日頃から学校園所で連携の取り組みがされている。今後も小学校への円滑な接続ができるよう、継続して取り組を進めていく。
- 今年度、小中一貫教育の推進の体制の構築と推進に向けて、昨年度立ち上げた各部会(11部会)にまとめ役を置いて、各部会の推進と充実を図ることができた。
- 校長連絡会での児童・生徒の授業参観に加えて、生徒指導部会、特別支援教育①、特別支援教育②、道徳・人権部会、学校保健部会、外国語部会等で授業参観を実施することができ、有意義であった。
- 教育課程部会では、担当者を中心に情報交流が進められ、教育課程上の課題などを共有することができた。時程や時間割の見直しの情報共有により、各校での工夫が参考になった。PTAや地域とのかわり方についても交流できた。今後は学校独自の取り組みのよさと中学校区全体の中でのバランスをいかにとっていくかを考えていきたい。
- 情報教育(情報モラル含)において、カリキュラムの交流を進めた。特に情報モラルの指導についての情報交流が参考になった。今後は、交流を発展させて、小中一貫教育9年間の視点を持ち、共通のカリキュラムやICTを活用した教材の共有を進め、指導に差がでないようにしていきたい。
- 本年度作成した小中一貫教育推進計画をもとに、各部会が具体的な取り組みを進めているが、11の部会の開催状況や進捗状況を見ると、生徒指導など定期的な開催が定着している部会と年間一回のみの開催の部会がある等、その進捗状況には差がある。今後はオンラインでの開催も含め、年間2回程度は開催するなど、連携強化に努めたい。
- 保幼小連携、小中一貫教育12年の視点を持ち、計画的に保幼小中学校の教員が直接話し合う機会を設け、今後も「連携と接続」を意識し、学びの継続と積み上げに向けた実践事例を増やす取り組みを推進していく必要がある。